

# 令和3年度 さいたま市立大宮北小学校 自己評価書

## 1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

学校教育目標「未来を拓き、心豊かにたくましく生きる力を育む」

学校像 子どもたちが嬉々として登校し充実感に満ちて家路につく学校

令和3年度 重点目標

- ◆よさを見つけ、認め、伸ばすことで、児童一人ひとりが達成感を味わえる教育活動を展開する。  
(評価アンケート項目児童③保護者⑧)
- ◆教師の指導力の向上を図り、「アクティブ・ラーニング」の視点で学び方が身につく授業実践に取り組む。(保護者①教職員①「よい授業アンケート」因子④)
- ◆道徳教育・教育相談・特別支援教育等の取組から日常の指導と人間関係づくりに努め、心豊かな児童の育成と、安心・安全な学校生活づくりを推進する。いじめ「0」を目指す。(児童④・⑪)
- ◆コミュニティ・スクールを見据えて、学校・家庭・地域の連携・協働を深め、地域と連携した学校安全を推進する。(児童⑩保護者⑫⑬⑭)
- ◆教職員の協働体制を高めるとともに、業務改善を推進し、ワーク・ライフ・バランスの充実を図る。  
(教職員勤務記録)

## 2 評価結果について

- 「学力・学習状況」については、児童(評価アンケート項目)③「学校の勉強は、よくわかり、楽しかったですか」が90.1%で昨年度を3ポイント下回った。また、「体力向上」については、保護者⑧「学校は子どもの体力の向上に努めた教育活動を行っている」が91.7%の肯定的評価で昨年より向上した。
- 「教員の指導力向上」については、保護者①「基礎学力の定着や基礎体力の向上を重視した授業改善を推進している」が93.7%、教職員①「基礎学力の定着や基礎体力の向上とともにアクティブ・ラーニングを重視した授業改善を行い思考力や表現力、判断力の向上を推進している」が95.2%の肯定的評価であった。また、「よい授業アンケート」ではアクティブ・ラーニングに係る項目で前回の市平均を0.2ポイント上回った。
- 「心豊かな児童の育成」については、児童④「人の気持ちを考え、思いやることができましたか」が86.4%で昨年度を2.4ポイント下回った。児童⑪「いじめや差別をしませんでしたか」が94.9%の肯定的評価であった。また、今年度新たないじめの認知件数は3件(解消1件・見守り中2件)であった。
- 「学校・家庭・地域の連携・協働」については、児童⑩「健康や安全に気をつけて生活できましたか」が97.4%、保護者⑫「学校は防犯ボランティアと連携し子どもの安全確保に努力している」が97.7%、保護者⑬「学校は保護者の相談や地域の願いに応えられるように努力している」が95.9%であった。また、保護者⑭「学校は教育活動を保護者や地域に積極的に公開している」が94.0%で昨年度の88.2%から改善された。
- 「学校における働き方改革」については、業務のICT化の推進などにより、月平均の超過勤務が昨年度から1時間29分削減できたが、改革を教育活動の充実に結びつけていくためにも、さらに取り組んでいく必要がある。

## 3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ◆「わかる授業」の実現のため、より一層の授業改善と学力の育成を推進する。そのために校内研修の充実、ICTの活用、授業実践を通じたOJTの取り組みを通じ、組織的な指導力の向上を図る。
- ◆より一層の児童観察・児童理解に努め、気持ちに寄り添いながら指導を継続していく。そのために多くの教職員が関わることのできる教科担任制等を工夫し、組織的な指導体制の構築を推進する。
- ◆家庭・地域との連携・協働体制の推進のため、開かれた学校の視点から双方向の情報発信・交流を工夫するとともに、コミュニティ・スクール実施1年目の運営を計画的に進めていく。
- ◆教職員集団の協働の意識向上を推進する。そのために「学校における働き方改革」の視点も含めて、教職員が共通理解・共通行動に基づいて児童を指導できる「強い組織」への体制づくりを図る。